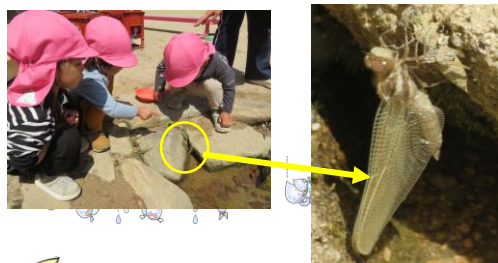


不思議がいっぱいビオトープ

子どもたちに大人気のビオトープ。メダカの赤ちゃんが増え、小さなメダカも見ることができます。ちっちゃなちっちゃなメダカを見つけて大喜びの子どもたち。年中組のT君が、「先生やばい虫がある」と言ってきました。やばい虫=やごです。数日後、やごが石の上に這い上がり、トンボになろうとしていました。子どもたちはじっと見入っています。神秘的瞬間に出会えたのです。



どんなことでも語り合い、
相談しあえる場所がある
それは 心の安らぎが
いつもあるということ

子どもが何でも「あのね～」と話すことを大人が受け止めていくことで子どもは心の安らぎを持つことができます。

困った時、自分一人で抱え込むのは、大人だってつらいですね。

どんなときでも「あのね～」と子どもが言える、「大丈夫よ」と安心させてあげられる親子関係。

いつまでも大切にしたい関係ですね。

全国私立保育園連盟
子育てメッセージより

G7 広島サミットとこども会議

7月19日から21日に開催されたG7サミットは、全世界で注目を集めていましたが、すいこうの年長さんの中にも注目をしている子どもたちがいました。サッカーの世界カップや野球のWBC、またしゃべる地球儀という玩具の影響で、世界の国々の国旗に興味を持ち、「イギリスの旗の人も広島に来るよ」と話していました。担任が、「7か国の旗と首相の写真を見せながら「フランスのマクロン首相が来てくれます」というと、なぜか子どもたちから大拍手。どの国を紹介した時も「わー」という歓声と拍手。子どもたちは、「広島に来てくれるんだよ」と歓迎ムードがいっぱいでとても可愛い姿でした。「こんな気持ちのまま大きくなると、世界中から戦争はなくなるのに」と思ったのです。ちなみに「日本は」と言うと「岸田総理大臣」と言う子もいました。子どもたちはいろいろなことに興味を示し、たくさんのお話を吸収しているのです。

そんな年長さんたちは、先日『こども会議』を行いました。第1回目なので、テーマは身近な「あいさつ」について7つのグループに分かれて話し合いました。会議を進める保育者が、「どうして挨拶をするんだろう」と問かけると、「おはようって挨拶をすると気持ちがいいよ」とか「挨拶をしたら挨拶してくれて嬉しい気持ちになるよ」と言っていました。中には、「挨拶してもらったら、相手が元気かどうか分かるよ」と大人のような発言もありました。また、「言われて嬉しい言葉は、挨拶だけじゃなくて、ありがとうとか、ごめんねとかもあるよ」と、話が広がっていき、「おやすみを言わないと寂しい気持ちで寝る」とか、「ばいばいって言ったらまた明日会えると思う」となかなか素敵な発言もありました。さらにたくさん意見が出る中で、「挨拶は、言っても言われても嬉しい気持ちになる魔法の言葉だね」とか「こんにちわ、は世界中で言ってるから世界中の人が友だちになれる」など大人以上に夢のある、子どもならではの発言が聞かれた会議となり、聞いている職員はみんな笑顔で、優しい気持ちにさせてもらったのです。

こども会議では、少人数で話し合うことによって、いつもは見る姿がでない子どもの姿に出会えたり、「こんなことを思っているんだ」と感じさせられ

たりします。すいこうでは、日頃の保育の場面でも子どもたちの声に耳を傾け、思いを受け止めることを大切にしていますが、たくさんのお友だちの中では、話したくても話せないお友だちがいたり、話していてもほかのお友だちが間に入って話せなくなったりすることもあります。もちろん初めからたくさん意見が飛び交うわけではなく、「うんうん」とうなづいてくれるだけの子どももいますが、少人数のこども会議では、「うんうん」と頷いている子どもの目を見て、一緒に「うんうん」と頷いてあげることができ、その子と話したいタイミングをキャッチしてあげることができるのです。たとえテーマと違う発言でも勇気をもって話したことをしっかり認め、受け入れてあげることによって、話す喜びを体験してくれることと思います。話す喜びを体験した子どもは、人の話を聞く楽しさも感じてくれることでしょう。

今回のこども会議では、日ごろあまり話さない子が一番に口火を切って話し始めたり、自分から「おはよう」がなかなか言えない子が「挨拶をすると、僕が来たことがわかる」などいつもと違う姿を見せてくれました。子どもたちなりにあいさつの大切さに気付いており、また相手のことを思う気持ちなどが育まれていることをうれしく思いました。子どもは大人の思っている以上にいろいろなことを考え、感じ、言葉を選択して使っています。それを受け止めてもらったことで安心し、また、話したい、誰かに思いを伝えたいと思うのです。こども会議は、子どもたちのそんな思いを満たしてあげられるよう、定期的開催したいと思います。

小さなお子さんを持つ保護者の方も園からの帰り道、お風呂の中、就寝前など少しの時間に、お子さんとの対話を楽しんでいただけたらと思います。

これから梅雨期に入りますが、雨の日だからできる活動もあります。子どもたちの大好きなビオトープでは、先日やごがトンボになる瞬間に遭遇し、「がんばれ」と見守るエピソードがありました。園庭には、不思議や発見がいっぱいです。自然の楽しさ、不思議さに触れ、雨の恵みにも感謝しながら、楽しく過ごしていきたいと思ひます。

園長 上原 玲子

地域への子育て支援

認定こども園には、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」という、教育・保育の在り方を明文化しているものがあり、その中に「子育て支援」という項目が掲げられています。園の保護者だけでなく、地域の子育て中の保護者に対しても支援を行うことが義務付けられており、そのあり方は各園様々です。すいこうでは、できるだけ園を開放し、地域の方にも子育ての楽しさや大切なことなどをお伝えできればと思っています。

現在、育児に追われ、孤立化している子育て中の方による虐待などの報道もあります。ご近所に子育て中の方がおられましたら、「すいこうに行くと、ママ友ができるよ」などと声をかけていただければ幸いです。

じめじめ じとじといよいよ
梅雨 入り!

人間にとっては、うっとうしい雨でも、雨が降ると元気に活動し始める生き物がいます。

かたつむり

巻き貝の仲間
雌雄両方の機能を持っている。こけや野菜を食べる



あまがえる



鳥や蛇から身を守るため、葉っぱの上では緑、木の幹の上では茶色に色を変える

あじさい

花びらのように見えるのは、がく
花は真ん中にある



この時期だから楽しめることを考えると、雨も楽しいものになることでしょう